

〈大分支部〉
**ＮＰＯ法人「大学コンソーシアム
 おおいた」の設立**

「大学コンソーシアムおおいた」は、平成二六年三月二二日の参加大学学長懇話会における創設の確認以降、計二回の準備委員会と計九回の担当者レベルの幹事会での調整、平成一六年七月九日の設立総会を経て、ＮＰＯ法人としての認可を取得、法人登記を完了し、日本学生支援機構大分支部を主たる事務所として一〇月より正式に業務を開始した。

世界八一か国・地域から約一、八〇〇名の留学生を抱え、対人口比で東京都に次ぐ全国第二位の留学生大県である地域特性を活かした総合的な留学生関連施策の構築とこれらの方針を大学と地域が一体となつて行うことが同コンソーシアム設立の趣旨である。

具体的には、アルバイト・住宅関連・健康・生活相談等の留学生への生活支援事業、「留学生人材情報バンク」による留学生の地域活動支援事業、ス



ポーツ・文化交流等による学生と地域との交流事業、留学生のインターンシップ・就職支援事業、留学生の日本語能力向上と主に小中学生の異文化理解の向上にかかる事業を計画している。なお、将来的には日本人学生も含めた単位互換や語学能力向上等の大学間共同教育プログラムについても事業化を研究し、展開していく予定であり、日本学生支援機構からは人的支援を行うとともに、これらの事業を共同で取り組み、大分県内大学への学生支援業務を効果的に行っていくこととなる。

一〇月一二日に開催された開設式典では、大分県内の学生と大学関係者、文部科学省、日本学生支援機構、大分県知事、別府市長、大分県内経済団体、報道各社等関係者約三〇〇名が参加して、盛大に開催された。多数の参加者から大学コンソーシアムおおいたに関する大きな期待が表明されるとともに、参加各大学の留学生による世界各国の伝統芸能などが披露され、地域と学生との交流の新たなページが開かれた。

